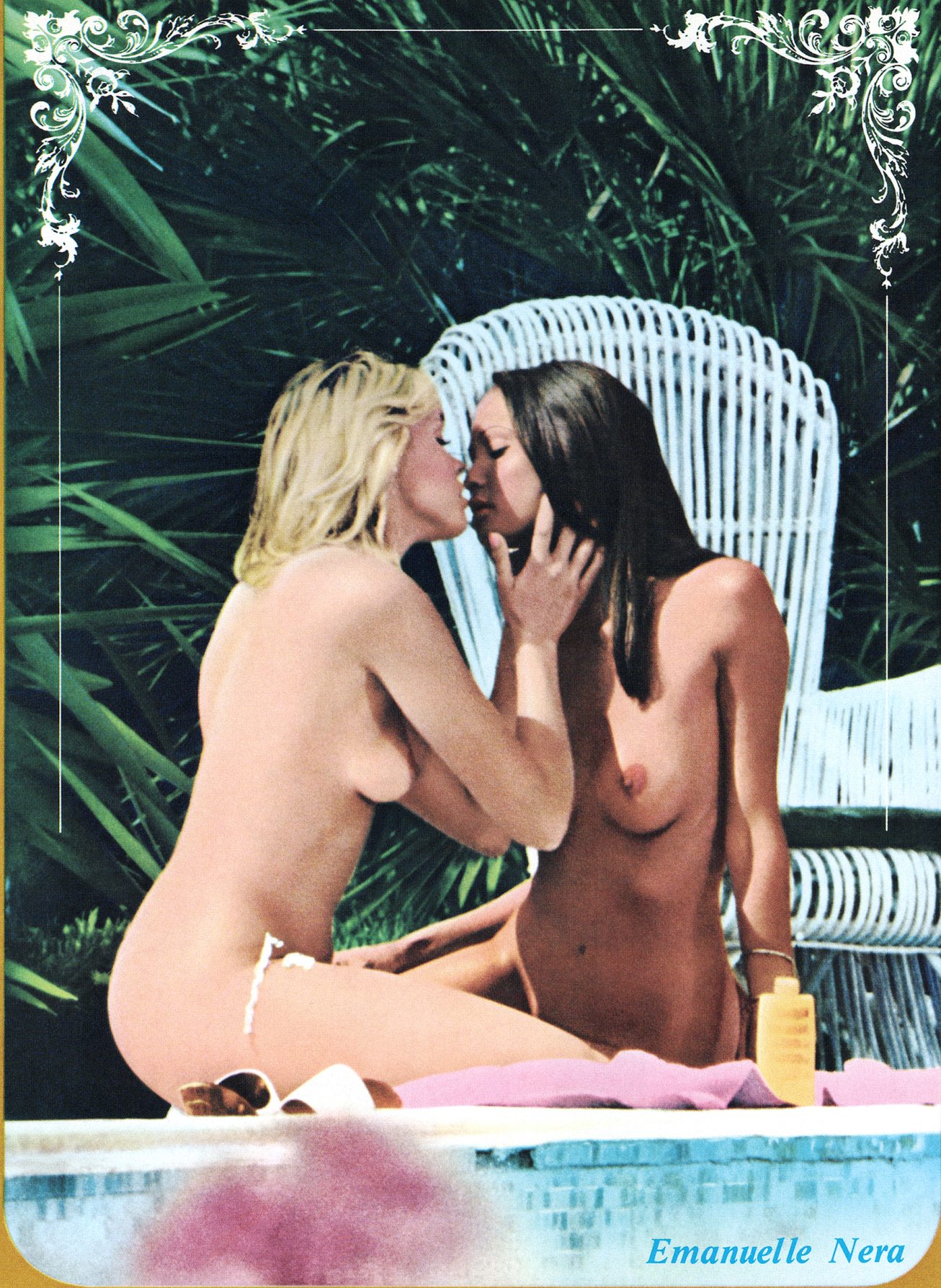


ものうい午後の日、象牙色の官能が密やかにエマニエルを誘う



*Emanuelle Nera*

\* 神秘に包まれた褐色の新星エマニエル / カリン・シューバート / アンジェロ・インファンティ

■ カラー作品 ■

# 愛のエマニエル

この甘美なおのゝき

美しくも奔放なエマニエル  
— エマニエル背徳の愛 —

「こんなに愛しているのに……」



■カラー作品■  
イタリア映画

**Emanuelle  
Nera**

富士映画



★スタッフ

監督……………アルバート・トーマス  
原案・脚本……………ビット・アルベルティニー  
アムプロジオ・モルターニ  
アドリアーナ・スパゲロー  
音楽……………ニコ・フィデンコ

★キャスト

エマニエル……………エマニエル  
ジャンニ……………アンジェロ・インファンティ  
アン……………カリン・シュエバート

# 愛のエマニエル

「太陽の誘惑」の主題歌によって大ヒットを飛ばしたニコ・フィデンコ。今やジャンニ・モランディー、ポビー・ソロと並ぶ人気を博し、イタリア女性のアイドル的存在となっている。

そのニコ・フィデンコが初めて映画音楽の領域に、その天才的センスをいかんなく発揮したのがこの「愛のエマニエル」である。

フランス人とジャワの混血である美人カメラマン、エマニエル(エマニエル)はアフリカへ取材のため旅立つ。そして、そこで、出会い―愛し―再び出会いの旅へと……。

全篇、ものうい黄昏をテーマとした流麗な音楽は、愛にふるえ、酔い、おののくエマニエルの褐色の肌と溶けあい、まるで熱帯に咲く野性の花のように、私達の感覚を快いエロスの香りで包むであろう。

そして、主演のエマニエル。役名同様エマニエルという名を持ち、ジャワ島生まれで、今年21才であること以外は全く神秘につつまれているが、その蜂蜜色の肌と抜群のプロボーションを見れば、彼女がファッション・モデルをしていたという噂も本当であろう。

北欧生れの雪のように白い肌をしたカリン・シュエバートとのレスピアンSEXシーンでは、白い大理石にたわむれる山猫の野性味を彷彿させ、祭に狂乱した土人と複数のSEXシーンでは、黒豹に襲われる野うさぎのいたいけなさを感じさせる。

まさに将来トップスターになるであろう資質をいかになく発揮している。

若い女性ならだれでもが憧れる旅・愛・夢。自由奔放に女を生きるエマニエル。シルビア・クリステルのエマニエルよりも一段と若く、激しく、神秘的なエマニエル。今、エマニエルがあなたを愛と性の旅へ誘う……。

監督は新しい感覚の狩人として期待されている26才の若きアルバート・トーマスが当り、エマニエルのエロティシズムを遺憾なく発揮し、カメラにはカルロ・カルリーニ等、エロティック・ファンタジーを完璧に描いている。

共演には西ドイツのトップ・スター、カリン・シュエバート(「大乱戦」「青ひげ」)、イタリアの中堅アンジェロ・インファンティ等。(製作サン・ニコラ・プロ、フラミニナ・プロ。一九七五年度作品。1時間38分)



4月3日より愛のロードショー

丸の内松竹

(201) 3720